

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	－	－	－
	○	百貨店（店長）	お客様の様子	・来客数等が大幅に改善している状況ではないものの、集客策を講じた際の来店状況や購入商材に変化がみられる。従来好調であった化粧品や食料品に加えて、一部婦人衣料等も若干ではあるが改善傾向となっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前より気温の上昇や、外に出る客も多くなり、来客数が増えたので、やや良くなっている。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・売上が土日に集中している。
	○	その他専門店 〔靴小売業〕 （経営者）	販売量の動き	・4月は前年よりも売上が増えた感じで、一昨年と比較して75%ぐらいの売上である。最近の動向をみると、大都市の緊急事態宣言の再発出で、地方にまで心理的な影響が出てきそうである。取引先もゴールデンウィークに合わせ、積極的に休業してきている。また、世界的なブランドの生産が落ちてきて、入荷がないことが気に掛かる。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・まだまだ新型コロナウイルスに左右されているものの、人の動きは少し戻りつつある。若い世代の客は動き、年配客の動きは鈍い。ウイルスに対する警戒感が世代でこんなにも違うのかと少し驚いている。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言時に比べ、まん延防止等重点措置下では、若干改善傾向にある。ただし、今後、緊急事態宣言エリアが拡大になった場合は、悪化の可能性はある。
	○	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・来客数が一昨年並みに戻ってきている。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの終息が見えないながらも、感染に気をつけながら、Withコロナで動き出している様子である。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・歓迎会や謝恩会の出張撮影は皆無だが、スタジオへ来店しての家族写真撮影は、最近増えてきている。
	□	一般小売店〔精肉〕 （経営者）	お客様の様子	・今月も新型コロナウイルスの感染者が他県と同様、当地でも毎日増えているとの報道がある。来月、ワクチン接種が始まる予定だが、それまでは皆、外出を控えている。ただし、感染拡大は止まらないので、不安でいっぱいの人が多い。
	□	一般小売店〔土産〕 （経営者）	販売量の動き	・比較対象の1月の売上と単純に比べると、今月の方がやや良くなっている。しかし、新型コロナウイルス禍以前の売上と比較すれば、今年1月と4月の達成度はそれぞれ29%にしかならず、大変厳しい状況が続いている。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍前の一昨年との比較では大幅なマイナスであり、厳しい状況に変わりはない。食料品が比較的堅調でアパレルが不振という構図に変化はない。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・前年は1回目の緊急事態宣言発出があり、大幅に落ち込んだ。それと比べれば、今年は伸びている。しかし、一昨年と比べて少し悪い状況は続いている。スキーを含めた観光客がやや少ない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上100%、客数98%、客単価103%と、一昨年には戻らないものの、落ち込みがなくなり、やっと前年を割らなくなってきている。働き方も変わり、テレワークも定着したようである。
	□	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、衣料品の購買意欲が減っている一方で、地域のプレミアム付商品券が販売になり、消費が増えている部分もある。
	□	衣料品専門店 （統括）	来客数の動き	・前年の今頃、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されてから丸1年がたつ。こうしたなか、商店街に来る客がなかなか増えない。これからも余り良い状態ではないかと心配している。

□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年同月は特別定額給付金支給に伴い、巣籠り需要で好調に推移し始めていた頃だが、その前年実績を今月も上回り、105%で着地の模様である。特に、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等が好調である。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4月という季節柄、企業や自治体客の買換え需要（軽自動車中心）等のお陰で、新車販売、整備売上共に前年同期を維持できそうである。
□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・過去4か月位の販売量は、ほぼ一昨年と同等並みに戻ってきている。しかし、今月に入り、やや低調である。周りの他業種でも、物の動き、販売量等が、やや戻りつつあるという話を客から聞いている。ただし、新型コロナウイルスの問題があり、経済的にうまく回っていないようで、また、これからも回らない恐れがある。こちらも心配しているが、客の心理的にも同様で、販売や景気の盛り上がりは期待できない。
□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が4都府県に発出されたゴールデンウィークだったが、前年ほどの巣籠り自粛にはならない。1年間の経験則で、この程度は良いだろうという物差しがあるように見える。車での移動で、近場の屋外レジャーが中心のようである。
□	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価が下がっているように感じる。時期的にゴールデンウィークに備えて、出費を抑えているのだろうか。
□	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は前回の緊急事態宣言中である。現在は、再び新たな緊急事態宣言発出中で、全国的な新型コロナウイルス感染者数の増加があり、ホテルの稼働状況は変わらない。
□	都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・宿泊は、中旬までは非常に好調だったが、ここに来て、新型コロナウイルス変異株の感染者増加に伴い、ゴールデンウィークの個人客や団体ツアー、スポーツ関係のキャンセルが目立ってきている。残念ながら、料飲部門は低調が続いている。
□	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・首都圏の緊急事態宣言解除後、県独自キャンペーンにより多少の新規申込があったが、4都府県に対する3回目の緊急事態宣言発出と隣接県へのまん延防止等重点措置発出により、再度、来店客ゼロの日が続くようになっている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず、今月も悪すぎる。車両台数を半分以下にしているが、売上は上がらない。午前中は高齢者等の病院送迎で少し動くものの、午後から夜、深夜は人通りがなく、タクシー利用者がいない。特急列車等は1両に何人かしか乗っておらず、駅に降りてきても、タクシーには乗らない。当地域も29日からまん延防止等重点措置が適用されるので、5月も期待できない。
□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に人の動きが悪く、前年同月と比べて20%減少している。
□	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・来客数は3月に比べて2割ほど減ったものの、1～2月と同水準にまで戻っている。
□	通信会社（局長）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、来店数は2割程度増えているが、前年比80%程度なので、上向いているわけではない。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの対策事業により、建設業はそれなりに需要がある。緊急事態宣言の再発出により、観光、飲食、サービス業は厳しい状況が続いている。
□	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・今年に入ってからずっと、客の動きと販売は変わらず鈍い。
▲	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・来客数の減少もあるが、客単価が100円ほど落ち込んでいる。特に、地域経済支援策が終了してからの影響が大きい。
▲	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・自動車販売店だが、3月中はこれでもかというくらい、客が来店してくれたが、4月に入り、ぱたっと来なくなってしまっている。3月の3分の1ほどの来客数である。このままでは大変である。
▲	その他専門店 [燃料]（従業員）	販売量の動き	・受注残が減少している。

	▲	スナック（経営者）	お客様の様子	・依然として客が外に飲みに行くことに抵抗があり、店の方でも客を迎えるのに、なかなか難しい状況がある。客が夜に出掛けることは、まだしばらく先になるのではないかと。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・事業所給食、レストラン共に、総体では食数が戻り足となっていたが、大都市での緊急事態宣言等の再発出を受け、各受託先では、改めて新型コロナウイルス対策を強化している。その結果、在宅勤務者の増加、出張や研修等の抑制等により、提供食数が減少していくと思われる。
	▲	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルスの重症者は3月下旬に一時ゼロになったが、その後増加に転じ、現在も増加している。ゴールデンウィーク直前に、まん延防止等重点措置の適用を国に要請する等、先行きが見えない。
	▲	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・首都圏を中心に、再度緊急事態宣言が発出され、先の見えない状況に、下降傾向と言わざるを得ない。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍前と比べ、来店客数は2割ほど減少しており、電話相談も4割弱減少してきている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店関係がすっかり停滞している。また、店舗も廃業、撤退が進んできている。ただし、物販店は逆に元気があるようで、ちらほら引き合いが増えてきている。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・毎月毎月、何か客の動きが鈍さを増している。新型コロナウイルスの影響が大きい。安全対策も100%ではないし、しかも出口が見えない雰囲気が漂っていることを、当店の客の多くを占める高齢者が感じ取ってしまっており、まず街に出てこない。どんどん悪くなっている。
	×	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社は観光地の真ん中に立地しており、背後に有名観光地、温泉地を控えている。世界遺産の寺社でさえも、観光客の来場者数が9割減と、本当に観光事業はひどい。物産屋やドライブイン等は休業のところも多い。こうした状況では、車を買換える気持ちに全くならないようで、修理は順調に入っているものの、販売が全くと言ってよいほど、良くない。特に、輸入車販売は厳しい。
	×	住関連専門店（店長）	それ以外	・観光業や飲食店、アパレル関連を中心に業績が悪化していて、早期退職やリストラを断行している。一部の小売業や業態以外は体力勝負になっている。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・県独自の営業時短要請が出され、影響が過大である。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、多くの都道府県で感染者が増えてきている。また、首都圏を中心に、緊急事態宣言が再発出された影響も大きい。
	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・依然として新型コロナウイルスの影響で悪くなっている。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響や国の意味のない政策で、今後の税金は全く払いたくない。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスが収束しない限り、当社のような末端企業に仕事は回ってこない。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・大商圏である首都圏に、まん延防止等重点措置、東京都には3度目の緊急事態宣言が発出されたため、学生団体のキャンセルや延期が続発し、一般来園者も減少している。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・連日、テレビに映し出される都市部の新型コロナウイルス事情に、地方の高齢者はおじ気づいて引きこもっている。人と接触しない期間が2年間に及べば、それが日常になってしまう。
企業動向関連	◎	—	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月の売上は思ったより改善しているものの、一昨年の7.5割くらいである。

(北関東)	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年度は新型コロナウイルス禍で、取引先の業績も不透明で自動車の開発案件も止まっていた。新年度に入り、急に開発案件が動き出して対応に苦慮している。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先が数社あるが、受注、販売量共にかなり多くなってきている。
	○	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。前与党政権誕生後、公共工事は順調に推移し、現政権誕生後も順調に推移している。公共工事は前年比14.6%増加と順調で、当社も前期比10%増の受注がある。新型コロナウイルスの対応も国民からは支持されていない、国民に依頼しておいて、政治家や公務員が反した行動をしているとは、信じられないし呆れている。
	○	司法書士	受注量や販売量の動き	・ほんのわずか数%くらいずつ回復しているという状況である。大きな回復ではない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大きな変化もなく推移している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減っているところに、部材が全然手に入らない。作りたくても部材がなく、発注を掛けても3か月後、半年後と言われている。そろそろ在庫の部材が切れるので、インターネットでいろいろ探して買うが、通常買っている価格の10～20倍である。部材が届いて作っても、赤字幅が大きくなるだけで大変な思いをしている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、取引先からの受注減により生産量が減少し、当社の受注に陰りを与えている。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・現状の巣籠り需要により、通販向けのキャンプ用品、バーベキュー、家庭園芸用品等の物量が、前年の10%ほど増えている。また、白物家電、エアコン等の状況も良く、全体的に前年比15%増の輸送量を確保している。
	□	経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言が再三の関心事になり、街なかの商店や飲食業、中小製造業等は、一気にモチベーションが下がっている。個人消費の足も引きずられているため、経済活動は委縮している。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・いろいろな業界団体の新年度の集会等が、久しぶりにホテル等で開かれる予定だったが、再び中止や延期になっている。
	□	その他サービス業【情報サービス】（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍においても特段変化は見られない。IT化で業務改善しようとしている客も底堅い。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足による自動車の減産が続いている。来月以降も回復の見通しが、はっきりしていない。
	▲	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年なら入居や退去が増える時期だが、今年は出入りが少ない。
▲	広告代理店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が過去にないほどひどい。時短営業の飲食店はもちろん、観光関係やそれに準ずる会社等への影響が相当大きい。「資金繰りはもう限界」という話も多く聞かれるようになってきている。	
×	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているなかでも、法令定期保守管理業務は予定どおりある。清掃等の業務は延期や中止が増えてきている。また、今年度から契約の見直しで、その他の点検保守業務の回数が減る等、売上が減少している。	
雇用 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・工場関係では、電子、スマートフォン、自動車、電機、家電等の部品等の生産は、維持しているようである。一般消費は、生鮮食品等の買いだめや、年度替わりの新入学や入園準備で資金調達したためか、購買が若干見られる。

○	人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・自動車部品製造関連が増産になり、派遣の採用数が上昇しているため、やや良くなっている。
○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人数は、飲食、小売業以外の業種で前年より増加しており、回復傾向にある。
□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比3.4%増と2か月連続で増加している。産業別で見ると建設業では前年同月比6.8%減、医療、福祉は、同比7.3%減、製造業は同比35.8%減と減少している。情報通信は、同比36.8%増、卸小売業は同比80.9%増、宿泊、飲食サービス業も同比266.7%増と大幅に増加している。生活関連サービス、娯楽業も同比81.8%増と増加しているため、全体として増加となっている。
□	学校 [専門学校] (副校長)	それ以外	・新型コロナウイルスの変異株の拡大により、首都圏を中心に再度、緊急事態宣言の発出となり、飲食業及び観光業を中心に厳しい状況となっている。しかし、動物 (ペット)、情報関連産業は、上向きになっている。
▲	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・今までは普通に仕事があったが、これから先は仕事がなくなり、派遣先から従業員を引き取るような話も出ている。
×	*	*	*